

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ライフステーション夢んぼ		
○保護者評価実施期間	8年 6月 4日 ~ 8年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	令和8年7月1日 ~ 令和8年7月15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援から就労移行までの部署があることでライフステージに合わせた切れ目のない支援が可能であり、プログラム内容も個々の能力に合わせて高めていくことができます。	活動内容では、ご利用者様別で内容を設定し取り組みを行っていただいています。繰り返しが力になるため何回か練習をすることと内容の見直しも定期的に行っています。また様々な場面において、ご利用者様を“頼る”ことで、ご本人の成功体験を増やしていく機会を作っています。	小学生、中学生など年齢や発達状況に応じた細やかな内容のプログラムに努めています。
2	体験学習、日常生活に関するトレーニング(調理、掃除、買い物、運動、音楽、工作など)を楽しみながら学習する機会を設けるなど、実践を通じて個々の力を伸ばしています。	体験型、実践型の学びの中で、金銭のやり取りなどを実体験から学べるように、また調理や買い物学習においては生活力の習得に繋げて取り組みを行っています。 ご利用者様の「得意」を活かし、興味関心が広がるプログラムに組み込んでいます。	集団生活内で協調性を育てるため、必要に応じて個別課題に取り組めるようプログラム内で調整をし取り組んでいきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	体力づくりをかねて運動ができる活動スペースが限られている。	発達支援室が2部屋に分かれているため、広く使用できるスペースが限られている。	体力づくりもかねて、外で体を動かす活動を取り入れることと、定期的に体育館を使用するなどして身体を動かす機会を作っています。
2			